

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の取組へ～

①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	くらし分野	担当課	企画課			
	政策分野	社会基盤・環境	課長名	森 真樹			
	施策	2 公共交通の充実		重点施策の該当	R4	-	R5
施策の目的	対象	市民、来訪者、運行业者	意図	移動手段が確保され、便利に利用できる			

施策の目標指標

目標指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度目標	令和6年度目標	令和7年度目標
地域公共交通の利用に対する市民満足度(%) (どんがタクシー・わかさ姫の満足度平均)	20.1	75.8	78.2 (75.8)	(80.0)	(84.0)	(90.0)
航路の利用に対する市民満足度(%) (フェリー・高速船満足度平均)	39.6	41.7	46.3 (41.7)	(43.0)	(45.0)	(47.0)
航空路の利用に対する市民満足度(%)	25.1	49.8	44.4 (49.8)	(51.0)	(53.0)	(55.0)

市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績		令和7年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
75.1	22.8	77.0	20.1						
重要度DI	満足度DI								
66.8	-12.7	68.8	-18.5						

施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	指標の推移(下段の()書きは見込み値)					
			2年度実績	3年度実績	4年度実績	5年度目標	6年度目標	7年度目標
地域公共交通の利便性の向上	14-36	デマンド型乗合タクシー(どんがタクシー)利用者数(人)	15,770	14,924	13,646 (15,073)	(15,224)	(15,376)	(15,530)
地域公共交通の利便性の向上	14-36	市街地巡回バス(わかさ姫)利用者数(人)	8,850	8,958	10,214 (9,047)	(9,138)	(9,228)	(9,321)
航路・航空路の利便性の向上	14-36 14-37	高速船利用者数(離島カード・島発往復者)(人)(鹿-西)	50,870	69,858	100,260 (96,500)	(100,000)	(100,000)	(100,000)
航路・航空路の利便性の向上	14-36 14-37	種子島空港利用者数(定期路線・チャーター便・臨時便含む)(人)	42,454	53,739	88,860 (85,500)	(90,000)	(90,000)	(90,000)

②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
<p>・平成29年4月から有人国境離島法による航路・航空路の運賃割引が実施されている。</p> <p>・種子島屋久島航路の高速船は6隻導入されているが、造船後28～45年経過し更新が求められる中、改正離島振興法(令和4年11月28日公布)において「高速安定航行が可能な船舶などの船舶・航空機に対する設備投資」が新たに配慮規定に盛り込まれた。</p>	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	<p>・高速船運賃については、島民割引運賃(種⇄鹿)が令和4年10月1日から12,800円となったものの、運賃低廉化事業により令和5年2月1日から11,700円と負担軽減が図られた。(市単独及び種子島屋久島振興協議会で要請活動を実施していた。)</p> <p>・離島割引カードの利用対象者(準住民)が令和5年2月1日から要介護者の島の親族で一定の要件を満たす者に拡大した。</p> <p>・種子島の交通政策に関わる課題の解決に向け、種子島地域公共交通活性化協議会(令和3年7月28日設置)で種子島地域公共交通計画を策定した。</p> <p>・市内公共交通については、実証運行を踏まえ、10月からどんがタクシーの種子島高校へのバス停新設を行うとともに、利用者について「大字に住む人」から「大字と市街地を移動したい人」に拡大した。EV車の導入により燃料費及びCO2ともに約55%の削減効果を得ている。</p>
現状・課題	<p>・原油価格高騰により、交通事業者の経営の厳しさは続くとともに、運賃への反映が危惧される。</p> <p>・高速船運賃については、令和元年10月1日から令和4年3月31日までの9,700円までには至っていない。</p> <p>・種子島地域公共交通計画に策定により、市内公共交通のあり方について再検討が求められる。</p>

施策マネジメントシート ～令和4年度の振り返りから令和5年度の実行へ～

今後の方向性	今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)
拡大・充実	<ul style="list-style-type: none"> 種子島地域公共交通計画の方向性をもとに、1市2町連携の上、具現化の検討を進める。 種子島地域公共交通計画との整合性を図りつつ、市内公共交通の利便性向上のための見直しを図る。 高速船の運賃低廉化や更新については、種子島屋久島振興協議会等で国の支援等を求めている。

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

今後の方向性	政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)
拡大・充実	<p>【総務企画部会】</p> <p>施策担当課の記載する方向性のとおり。</p>